

平成30年度事業計画報告

平成30年度 計画頭数

1 家畜の登録、登記、検定及び会員数

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行う。

登録登記検定頭数及び会員数				
種 畜	登録登記の種類	平成30年度計画 頭数及び員数	平成29年度計画 頭数及び員数	増 △ 減
乳 牛	血 統 登 録	250	260	△ 10
	移 動 証 明	150	150	0
和 牛	高 等 登 録	80	96	△ 16
	本 原 登 録	1,150	1,250	△ 100
	基 本 登 録	2,600	2,800	△ 200
	子 牛 登 記	31,000	31,000	0
	血 統 証 明	250	250	0
種 豚	産肉検定証明	1	1	0
	産 子 検 定	10	15	△ 5
	種 豚 登 録	150	175	△ 25
	子 豚 登 記	360	400	△ 40
山 羊	産 子 登 録	10	10	0
合 計		36,011	36,407	△ 396
会 員	乳 牛 会 員	35	38	△ 3
	和 牛 会 員	2,760	2,800	△ 40
	種 豚 会 員	15	18	△ 3
	種馬山羊会員	190	190	0
	団体賛助会員	2	2	0
計		3,002	3,048	△ 46

2. 家畜改良振興事業

1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上及び地方審査委員の取得を目的として、家畜審査講習会を年2回開催します。

平成30年7月下旬・・・体型測定や和牛の見方の基本講習会

平成31年2月上旬・・・地方審査委員を取得目的とした講習会

2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査の科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成を行います。開催については8月上旬に予定しています。

3) 沖縄県農業大学校における家畜育種講座の中で、家畜の改良の講義を担当し、農林高校では家畜審査協議会の審査委員を担当し、後継者育成を支援します。開催については、農業大学校は7月3日に、農林高校家畜協議会は7月5日に石垣島で予定されています。

4) 和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部の各地区、県共進会への審査委員を派遣し、農家指導を行います。

5) 県内の乳用牛の生産性向上のためホルスタイン登録協会と連携し、体型データの収集と評価を行い、乳用牛の改良を促進させるような指導を行います。

平成30年 6月・・・・・・第1回体型調査

平成30年11月・・・・・・第2回体型調査

6) 種豚対策として、優良種豚の維持を確保するため指定種豚場で生産された登録・登記豚に対して半額助成を行い、また、指定種豚場の種豚を一般農家へ普及させるように支援を行います。

7) アグーについては、アグー生産農場と連携し登録を推進します。

8) 山羊対策として「出生確認」山羊を増頭させ、現場のニーズにあった大型山羊への改良指導を行います。

9) タブレット等などを用いて農家にて、交配シミュレーションや分娩間隔、後継牛の対策等の指導を行います。

3. 肉用牛振興推進事業

離島地域において、現状における繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行いながら、今後の地域の改良の方向性や個々の農家の育種価や分娩間隔の改善点などの指導を行います。

平成30年12月・・・・・・与那国町繁殖雌牛検討会

平成31年 1月・・・・・・竹富町黒島繁殖雌牛検討会

4. 繁殖雌牛改良促進事業

母集団のレベル向上を図るとともに、沖縄県の特徴のある種雄牛造成に寄与するため農家個々の母牛育種価や授精情報をいち早く関係機関と連携し共有するよう取り組みます。

県内各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題として取り上げるとともに、飼養管理技術の向上を図るための研修会を下記地区で実施します。

○石垣地区, 宮古地区, 久米島地区 7月開催予定

○伊江地区, 北部地区, 中部地区, 南部地区 . . . 10月開催予定

5. 優良肉用牛生産推進事業

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため県内生産農家に脂肪交雑の上位1,000番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションを行い通知して計画交配を推進させ、また、期待の期待、期待育種価及び分娩間隔等を送付して能力の高い後継牛の保留対策を促進させるため農家指導を行います。

6. 全国和牛能力共進会出品対策事業

次回の鹿児島全共に向けて関係機関と連携して第12回全共沖縄県協議会の設立に向け取り組む。また、各和牛改良組合と連携して、全共に向けての取り組み方や、高等登録を積極的に受審させ、地域の母集団のレベル向上に寄与して行く。更に、24ヶ月短期肥育に対応するため、畜産研究センターと連携して肥育農家を巡回し、スキャンや測定などを行って、肥育技術向上を目指します。

7. 家畜人工授精用精液取扱事業

沖縄県畜産研究センター及び一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターから家畜人工授精用精液を県内で開設している家畜人工授精センターや人工授精師へ供給して、農家の需要に応えるとともに、県及び家畜改良事業団の新規種雄牛の情報や交配指導等を行います。

8. おきなわ山羊改良基盤整備事業

おきなわ山羊を大型化するために優良種畜の測定や選定を実施して山羊の改良を行い、計画交配や国外から優良山羊を導入して1頭当たりの肉量増加を図り、生産効率向上を目指します。